

～笑顔とやさしさをつなげていく北方の子～



# 北方だより

横浜市中区諏訪町29

Tel 045-621-2966

<https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kitagata/>

## ねんめ あら いっぽ 151年目の新たな一歩

ふくこうちょう しげいずみ まさあき  
副校長 重泉 正昭

長かったコロナ禍を経て、コロナ前の日常を取り戻しつつ、令和5年度が始まりました。今後は、少しずつコロナ前の日常に戻していきますが、それは、全て今までどおりに戻していくというわけではありません。新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中で、多くの感染予防のほかに、学校行事をはじめとした教育活動の取組をさまざまに工夫・検討してきました。コロナ禍であったからこそ、大きな見直しを行えたものもあります。そういったものの中に、今後の活動にとり入れていけるものもいくつかありました。

運動会もその一つです。このコロナ禍の間、多くの学校が、午前開催・人数制限に取り組みました。北方小学校は給食ですが、弁当の学校では、「お弁当作りに振り回されなくてよい。」と、午前開催に賛成の意見が多く寄せられました。本校でも午前開催の方向で進めています。その中で、全校競技や閉会式も午前中に組み入れられないかと、今年度より試みます。また、児童の発達段階に合わせて、演技内容等も見直し、2年がかりで変更していく予定です。

4年生から6年生で実施している宿泊体験学習も見直しを行っています。4年生は、施設面や活動内容から、すでに野島から上郷へ変更しています。5・6年生の片品宿泊体験学習も、現在、見直しを行っています。

昨年度、6年生は、小田原・箱根へと急遽変更しました。これは、まん延防止等重点措置が出されたり、県外への移動が規制されたりしたときのことを考えてのことです。また、感染症対策が十分にとれる宿舎があったことも理由の一つです。

5年生の片品でのスキー体験は、費用がたいへんかかり、様々な料金がさらに値上がりしています。昨年度まではコロナ予算がつき、補助に回していましたが、今年度からはありません。また、病気やけがのときの対応も難しくなっています。児童がけがや体調を崩した場合、ふもとにある病院に行くまでに、車で40分以上もかかってしまいます。また、原則、保護者が現地まで迎えに来ていただくので、大変なご負担をおかけします。引率した教職員と個別に帰る場合には、新幹線で帰ることになりますが、病院から駅までも、車で30分以上かかります。何よりも、児童の安全を守ることが第一ですので、大きな課題となります。一方、スキー教室では、まったく滑れない子どもたちが、最後にはグレンデを普通に滑り降りてくる姿を見て、感動しました。「楽しかった。」「また来たい。」といった充実感のほかに、私には、成就感や達成感を感じられました。北方小学校で培いたい資質・能力の一つ、自己有用感を育む、とてもよい活動に感じました。

どんな活動にも、一長一短があります。その中で何を大切に考えていくかが重要です。子どもたちにどのような活動を通して、どのような資質・能力を育みたいのかを中心に考え、保護者の方の負担軽減や子どもたちの安全・安心を守りつつ、活動内容や場所を検討していきたいと思っております。

150周年を終え、今年度からまた新たな歴史を積み重ねていきたいと思っております。